

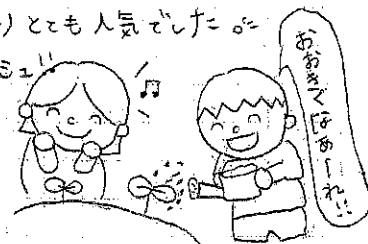
A black and white line drawing of a snowman. The snowman has a round body, a small hat, a scarf, and stick arms. It is surrounded by snowflakes and a small snow globe.



ラディッシュの4又種

2回目 100万粒のラテックスが大きい大きき育ち 今度は20個ほど収穫
できました。自分で収穫 できることが嬉しくてこれを扱おうかと
迷っている姿が あります。自分でいっとたものは自分で洗
います。手が冷たい中でも落とさないように大事に持て洗
いた子どもたちです。そしてお昼の時間に 保育室で茹でま
した。鍋を覗いてお湯の色が白く色に変わっていくのが
不思議で釘付けです。食べると「醤油で前の時と味が
変わったね。」と言っていたり里芋葉が少し苦手な子どもも「美味
しいしおかわりです!!」と言っていたりと人気でした。 (笑)

食べてみないかという鬼いから育てたラヂオシユ
 1つの間に愛着がわき、水やりをする
 前に大きくなっているか、必ず見
 に行く(とてじた)。



異年齡交流

☁ 5/2 ☁

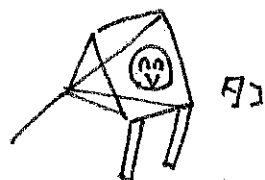
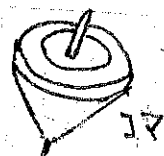
“お正月あそび”

年末年始の長い休み明けに、「お正月月は何してたの？」と聞くと、「おはあちゃんのおうち。してた。」「○○してたで。」「○○したで。」と笑顔で話し、楽しいお休みになったことが伝わってきました。また、保育園で友だちに会えることも嬉しいような子どもたちでした。

新年の保育が始まり、しばらくして、最近は見かけなくなったお正月あそびのひとつの風あかを経験してもらいたくて、又、制作する楽しさを感じてもらうために風を作りました。風はレジ袋で作りました。型紙で型をとり、ハサミで切ったのですが、画用紙を切るのとは、勝手が違い、フニャフニャしたレジ袋を切るのは、難しかったです。

「むずかしい」「きれない」と言いながらも、「つくりたい」「あそびたい」気持ちで、諦めず、集中して切っていました。切れた風には、それぞれが好きな絵や模様を描きました。家族や友だちを描いたり、ハートを描いたり、数色を使って塗りつぶしたりしていました。後は、竹ひごをセロテープで見留めて、保育者が紐をつけて完成です。完成後は、公園に行き、みんなで風あかを楽しみました。早く公園に行き、遊びたい子どもたちは、ソワソワしています。「はやくいこう」とせかします。公園に着くと、一斉に風あかが始まります。色んな方向に走って行きます。一生懸命走り、風が気になって、前を見ていなかったで、友だちとぶつかって涙する場面もありましたが、最後はみんなで楽しんで帰ってくることができました。

また、コマでも遊びました。がせ組までは、手で回すコマでした。が、それからは糸で回すコマです。コマに糸を巻くのが難しく、思い通りに出来なくて、イライラしている姿もありました。が、「やりた!!」気持ちでそれぞれの心に入り、糸がほどけても何度もやり直して挑戦していました。あまりにも、じっくりと集中していたため、保育室が誰も居ないかのように静かになっていったことが、印象的でした。この日は、糸を巻いてみるだけで終わってしまっただけですが、後日、数人の子どもが、宝箱からコマを出してきて、再び挑戦し、あと少しで回せうになっていました。できるようになるまで、気持ちが折れてしまう時もありますが、「出来るようになりたい」気持ちを持續できるようにお手伝いし、出来た時の喜びを共有できたらいいなと思います。



たいようぐみ

新しい年が明け、早いもので1ヶ月が経過とうとしています。子どもたちはまだ甘えていた気持ちがある反面、気づきあいや声かけをしながら友だちを意識し、集団の中で自分自身を出しながら成長している姿があります。

1月の活動では、年明けに用紙を作りました。スーパーの袋に絵をかいた簡単なものですが、走ると膨らむ様子が面白く、何度も走っていました。さらに、月末に行く雪あそびに向けて、帽子作りをしました。キットに糸糸をかけて、さらに出っ張りにひたすら引っかけていきます。同じことの繰り返しですが、慣れてくると面白く、一日で仕上げてしまう子どももいました。引っかける時に紐が二重にかかっているか、かかっていると下に下がっていくはずなのに、行かないからということ話をしていたので「ここ、ちょっとおかいかも」と子どもの方から教えてくれていました。出来た帽子をかぶり、雪あそびに向けて「あと何にち」とカレンダーを見ながら、楽しみにしています。

《豆末芝》

前に双ヶ丘に行った時に、景色がのっているパネルがあり、「鬼はよしだ山ってところから来てるんやで」ということを教えてもらいました。それから、「鬼ってそこからくるんやろ?」「今年はどんな鬼なんやろ」と楽しみにしつつ、ドキドキしていました。たいうぐみになり、今年自分たちが初めて鬼役になります。お面を今、手作りで作っています。風船に和紙と新聞を順番に貼り、丈夫なものになりました。一人ひとり鬼のイメージが違っているので、色なりでも様々な色や形になりました。他のクラスの子どもには内緒にしつつ、来月の節分の由来も知りながら、楽しみにしたいと思います。

卒園に向けて、残りあとわずかになりました。アルバム作り、制作展、活動内容も増え、毎日があっという間に過ぎていきますが、子どもたちにとって「ああ、こんなしたな」「楽しかった」と思ってくれるように進めていきたいです。

